

## 『点 検』

### 1 2 自己点検・自己評価

#### 基準 1 2 - 1

上記の諸評価基準項目に対して自ら点検・評価し、その結果を公表するとともに、教育・研究活動の改善等に活用していること。

【観点 1 2 - 1 - 1】自己点検及び評価を行うに当たって、その趣旨に則した適切な項目が設定されていること。

【観点 1 2 - 1 - 2】自己点検・評価を行う組織が設置されていること。

【観点 1 2 - 1 - 3】自己点検・評価を行う組織には、外部委員が含まれていることが望ましい。

#### [現状]

上記の諸評価基準の項目のうち、薬学教育に関する評価基準の項目（理念と目標、医療人教育の基本的内容、薬学教育カリキュラム、実務実習、問題解決能力の醸成のための教育などの項目）については、今回の「自己評価 21」の自己点検評価が初めてであり、各項目について上記のように自己点検評価を行った。

それ以外の項目（学生の受入、成績評価・修了認定、学生の支援、教員組織・職員組織、施設・設備）については、武蔵野大学が既に行ってきた自己点検評価の評価基準の項目に含まれている。これらの項目については、武蔵野大学として自己点検評価を行っており、平成 18 年度に自己点検評価報告書を公表した。大学のホームページでも報告書を公開し、教育研究活動の改善などに活用している。今回の「自己評価 21」は薬学部に関する自己点検評価であるため、諸評価基準の項目については、あらためて薬学部に焦点をあてて点検評価を行った。

薬学部の自己点検・評価は、図のような実施体制をとった（図 a、自己点検・評価委員会・薬学部小委員会、実施体制 - 「自己評価 21」 -）。実施本部の本部長は今井一洋薬学部長が担当し、副本部長は高村則夫学科長が担当した。実施本部の下に自己点検評価委員会を設置したが、委員は薬学部の全教授と准教授（臨床薬学センター）1名、さらに、事務係部署の部長で構成されている。また、「自己評価 21」の報告書作成のための報告書作

成委員会を設置し、薬学部教授 5 名と事務局の責任者が関係部署との調整を行い、自己点検・評価、及び、「自己評価 21」の報告書作成を行った。

現時点では、これらの自己点検・評価を行う組織には外部委員が含まれていない。

#### [ 点検・評価 ]

1. 今回の「自己評価 21」の報告書作成に当たり、適切な自己点検評価を行い、その結果を公表するとともに、教育・研究活動改善等に活用している。

2. 実施体制の組織は、適切に設置され、機能していると考えられる。

#### [ 改善計画 ]

今回の自己点検・評価は、薬学部としては初めてであるので、外部委員をメンバーに加えるところまでには至らなかった。今後の改善計画としたいと考える。